

SuperHT³導入推奨環境一覧

Windows

バージョン	備考
Windows 98 または Me	
Windows NT 4.0	Service Pack3 ~ 5(6 以上の場合、Spread の動作に不具合が生じる場合があります) 動作確認済み推奨バージョンは 5
Windows 2000	
Windows XP	

Word (SuperHT³の表ありモード)

バージョン	備考
Word97 (Office97) (library バージョン 8.0)	「表がない」モードでは不要。ただし、Word がインストールされていない場合は翻訳支援での自動ペースト機能は使用できません。
Word98 Office としては存在しない (library バージョン 8.1)	
Word2000 (Office2000) (library バージョン 9.0)	
Word2002/2003 (OfficeXP)	

Excel (辞書作成、辞書一括作成)

バージョン	備考
Excel97 (Office97) (library バージョン 8.0)	辞書作成処理を行う場合は必要です。HT3 辞書のみ使用する場合は必要ありません。
Excel2000 (Office2000) (library バージョン 9.0)	
Excel2002/2003 (OfficeXP) SuperHT³のXPFS版が必要です	

IE (JH2、SuperHT³のWordモードのIEコントロール、SuperHT³の解説表示)

バージョン	備考
IE 4(4.01)	最小環境。Windows98 では初期インストールバージョン。NT の場合は Service Pack 3 以上をあてていないとインストールされません。
IE 5 ・WSH 1.0 ・スクリプトエンジン 5.0 (VBScript / JScript)	推奨
IE5.5 ・WSH 2.0 ・スクリプトエンジン 5.5 (VBScript / JScript)	
IE6.0	

メモリ・CPU要件

CPU: Intel Pentium 300MHz 以上および同等クラスの互換(Celeron など)プロセッサ。

ただし、100 ページ以上におよぶ文書を一度に処理する場合は、処理ページ数に応じたスペックが必要です。

日常的にこのような文書ばかり行うのならば Xeon クラスのサーバ用プロセッサが必要になります。

場合によっては、夜間に行うなど、運用上の工夫も必要です。

基準としては、SuperHT³と関係なくWordでその文書が開けて通常の処理が行えることが大前提となります。

メモリ: 最低 64MB、推奨 128MB 以上

RTF モードで 20 ~ 30 ページ程度までの処理が中心であれば 64MB でも実用に耐えると思われます。

推奨は 128MB 以上。ただし、100 ページ以上におよぶ文書を一度に処理する場合は、処理ページ数に応じたスペックが必要です。

ディスク容量: プログラム本体およびヘルプ合計約 15MB

問合せ先: 有限会社 アトリエ・ワン **SuperHT³事業室** 貝島 (カイジマ)
電話: 03 - 3351 - 0058 E-mail: roy_kajjima@h8.dion.ne.jp